

| | | | |
|-------------|--|---------|----|
| ふりがな 氏 名 | やまだ ちさと 山田 千聡 | 職 名 | 助教 |
| 取得学位 | 修士(文学)、MA (History) | 学会での受賞歴 | |
| 主な担当科目 | 総合英語 A-1/A-2/B-1/B-2、健康栄養のための英語基礎/応用演習、基礎ゼミ、異文化コミュニケーション、総合女性学 | | |
| 所属学会 | イギリス女性史研究会、日本ヴィクトリア朝文化研究学会、東海ジェンダー研究所、日本比較文学会、ジェンダー史学会 | | |

◆ 教育業績

| 事 項 | 実 施 年月(日) | 概 要 |
|---|-------------------------------|---|
| 映画を使用したリーディング教育 (名城大学) | 平成 30 年 4 月～平成 31 年 3 月 | 英語講読の授業で、映画を題材とした教材を使用し、リーディング力の強化を目指した。毎回の授業では、映画の内容や文化背景に関するリサーチを課題とし、グループ・プレゼンテーションやディスカッションを実施した。また、自作のハンドアウトを用意し、リーディングの内容確認や予備知識の紹介を行った。 |
| 「地域研究」の教材作成 (名古屋短期大学) | 令和元年 9 月～令和 3 年 1 月 | 地域研究の授業で使用する穴埋め式のレジュメを作成した。レジュメには、イギリスの地理や歴史への理解を深められるよう地図やイラスト、図表を豊富に使用した。また、リスニング教材を導入してイギリス英語に触れさせることで、アメリカ英語との違いやイギリス文化の特色を学習させた。 |
| ポスターセッションによる Study Abroad 成果報告会の実施 (愛知淑徳大学) | 令和元年 11 月 | リーディングの授業でポスターセッションを実施し、聴衆を惹きつけるポスターの作成方法や質疑応答の準備方法等を教授した。学生は異文化理解をテーマにしたテキストから選択したトピックを基に、Study Abroad での体験を英文でまとめ、ポスターを製作した。セッションでは、発表者からの一方的なプレゼンではなく、学生同士のインタラクションを中心とし、その中で異文化・自文化に対する気づきを深められるよう指導した。 |
| リーディングのオンライン授業におけるアクティブ・ラーニング実践 (愛知淑徳大学) | 令和 2 年 5 月～令和 3 年 1 月 | Microsoft Teams を利用したリーディングのリアルタイム・オンライン授業において、プレゼンテーション・ディスカッション・ペアワークを導入し、アクティブ・ラーニング型の授業を実践した。学生に投稿欄を使用したディスカッションのやり方を指導し、ライティング力の向上に結び付けた。また、Forms を使用して課題や授業後コメントを集約し、個別にフィードバックを行った。 |
| Gender and Society のオンデマンド教材作成(愛知淑徳大学) | 令和 2 年 8 月～令和 3 年 1 月 | |

| 事 項 | 実 施 年月(日) | 概 要 |
|------------------------|--------------|--|
| 健康栄養のための英語基礎/応用演習の教材作成 | 令和3年4月～12月 | <p>パワーポイントを使用した音声付きスライド教材(各回 20枚程度)と Forms を使用した予習・復習課題を作成し、オンデマンド授業を実施した。教材の視聴後、Teams の投稿欄でオンライン・ディスカッションを行い、学生同士でフィードバックコメントを交換した。学習成果の発表として、ジェンダーにまつわる広告動画を制作後、自己評価とクラスメイトへのフィードバックを実施した。</p> |
| 基礎ゼミにおけるフリーペーパー・ポスター作成 | 令和3年4月～7月 | <p>アメリカ留学を前提とした授業を受講する学生に向け、現地で使用できる英語のフレーズ集を作成し、ペアワークや中間・期末試験の問題に使用した。アメリカでの生活や文化にまつわる映像付きの教科書や自作のアメリカ文化を紹介するプリントを併用し、異文化理解とコミュニケーション能力の向上を目指した。</p> <p>基礎ゼミで興味のあるテーマ別に学生をグループ分けし、調査した結果を名古屋女子大学の学生に向けたフリーペーパーまたはポスターの形でまとめさせた。学生は衣食住とジェンダーに関する内容で日本と海外の文化比較や歴史の調査を行い、小レポートとフリーペーパー・ポスターの作成、発表会の実施を通して研究活動を体験すると同時に、他グループの研究内容について理解を深めた。</p> |

◆ 研究業績

| 区 分 | 著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称 | 単 ・ 共 | 発 行・ 発 表 年月(日) | 発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏 会の名称(会場名) | 備 考 |
|------|---|-------------|----------------------|---|--|
| 論 文 | なぜ『忌まわしき花嫁』なのかー ヴィクトリア朝後期のウェディ ングドレス・結婚・女性参政権運 動 | 単 | 平成 30 年 10 月 | 金城学院大学論集(人文 科学編)、金城学院大学、 15 巻 1 号 | p. 127-144 |
| | Gendered Practice of Cooking : The Norm of Modern Housewife in Nineteenth- Century British and American Cookery Books | 単 | 令和 4 年 3 月 | 愛知淑徳大学論集 グロ ーバル・コミュニケーション 学部篇、6 巻 | p.25-34 |
| 学会発表 | 「ウェディングドレスは語るーな ぜ「忌まわしき」花嫁なのかー」 (口頭発表) | 単 | 平成30年2 月 24 日 | 映画英語アカデミー学 会愛知県大会、スクリー ンプレイ事業部 | 映画英語アカデミー学会愛知 県支部 HP |
| | 「ジェンダーを翻訳するー明治翻 訳家政書の「家族」「家庭」をめぐ る言説とその変容」(口頭発表) | 単 | 令 和 元 年 12 月 7 日 | 日本比較文学会 中部・ 関西支部合同大会 (第 47 回中部支部大会)、愛 | 日本比較文学会中部支部 2019 年秋号 Newsletter 23 p. 8 |

| 区 分 | 著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称 | 単 ・ 共 | 発 行・ 発 表 年 月(日) | 発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏 会の名称(会場名) | 備 考 |
|----------------|---|-------------|-----------------------|--|--|
| 学会発表 | “Fostering Intercultural Competence : A Proposal for Applying “Positivity” to Interactive Activities” (ポスタ ー報告) | 単 | 令 和 元 年 12 月 7 日 | 知淑徳大学 The Third Annual Nanzan Language Education Seminar, 南山大学 | The Third Annual Nanzan Language Education Seminar Website |
| | Mrs. Warren の家庭経営術—語 りの虚構と現実 | 単 | 令 和 3 年 11 月 20 日 | 日本ヴィクトリア朝文 化研究学会 第 21 回 全国大会、同志社大学 (オンライン併用) | 日本ヴィクトリア朝文化研究 学会 第 21 回全国大会プログ ラム |
| | 料理のジェンダー化 —19 世紀英 米のレシピから読み解く近代主 婦規範— | 単 | 令 和 3 年 12 月 12 日 | ジェンダー史学会 第 18 回年次大会、同志社 大学 (オンライン開 催) | ジェンダー史学会 第 18 回年 次大会 HP |
| そ の 他 (報告書) | 「「英語講読」におけるアクティ ブ・ラーニング実践」(教育実践報 告) | 単 | 平成 31 年 3 月 | 名城大学・教育年報、第 13 号 | p. 59-66 |